

令和7年度 第2回幹事会・委員会

令和7年10月1日(水)

青年部会の令和7年度第2回幹事会及び委員会が協会事務局の会議室において開催され、10月以降の今年度事業の計画が協議されました。また、9月までに行われた事業について各部会員から報告がありました。

開催に先立って、青年部会上村顧問から、本年4月に行なわれた(祝)上村誠紀君(公社)全国産業資源循環連合会青年部協議会会長就任激励会ゴルフコンペの開催に対するお礼と、令和8年1月30日に大阪で開催予定の全産連青年部協議会全国大会は、会場規模も一段と大きく、収容数確保のためにも、多くの部会員に参加してほしいとの案内も含めた挨拶をいただきました。

《幹事会》

加藤部会長から『今年度開催する山口大学との合同研修会やセミナーの日時等が決まったこと、岡山・広島協会青年部会隣県交流会についても具体的内容を協議したいので積極的な発言をお願いする。』との挨拶があり、部会長を議長として議事が進行されました。

報告事項として、加藤部会長から、今年9月17日、18日に大阪で開催された全国大会in大阪についての報告があり、視察を行った大阪・関西万博は、猛暑の中39名の参加があった。あまりの暑さに、会場に入っただけで日陰を探した。それでも奇跡的に日本館等を視察することができた。テーマがごみや環境であった、また、震災復興に向けた展示もあった日本パビリオンでは、生ごみから飲み水をつくるという取組の展示もあり非常に有意義であった旨の報告がありました。

また、事務局からは、令和5年度に合同研修会に参加した学生が、翌年、学内の「おもしろプロジェクト」に応募・採択され、不要になった衣類の回収・選別・販売を通じて、衣類の行く先を意識し、購買行動を見直すきっかけをすることを目的とした取組が、今年7月学長賞に選ばれた旨が報告されました。この活動は、合同研修会の討論テーマを通して学生自身が自ら問題意識をもち、独自の活動につながった好事例として青年部会の活動の波及効果としても評価されると思います。



幹事会における報告

《委員会》

青年部会に設置されている人材育成委員会、環境学習委員会、交流委員会の3委員会において、幹事に先立ち、委員会ごとに活発な協議が行われ、最後に幹事会で協議結果が報告されました。

◎人材育成委員会(内田康博委員長)

韓国釜山への視察研修は、本年10月22日(火)から24日(木)の2泊3日で行われ、造船、電気・電子技術、燃料・エネルギー等に関するアジアにおける主要な展示会であるコルマリン2025展示会(国際海洋展示会)を主な訪問先として実施されます。

例年実施している人材育成セミナーは、令和8年1月20日(火)に開催予定の(一社)山口県産業廃棄物協会スキルアップフォーラムをセミナーとする方向で進めることとなりました。

◎環境学習委員会(中島浩委員長)

本年度の山口大学との合同研修会は、テーマを今後、役目を終えて大量に廃棄されると予想される「太陽光発電パネル」、「風力発電施設」、「電気自動車(EV)のリチウムイオンバッテリー」について、その現状・問題点、対策・資源循環などを討論する予定です。

以下の日程で実施されることとなりました。

第1回: 11月28日(金) 基調講演、各班に分散しての討論

第2回: 12月10日(水) 廃棄物処理施設視察

第3回: 12月26日(金) 討論結果発表

◎交流委員会(石井次哉委員長)

隣県交流会については、山口県協会青年部会の引き受けにより、令和8年2月13日(金)、産業廃棄物処理施設の視察を中心とした内容で計画することとなりました。



各委員会での協議